

### 農場長より

今年度は東北大学大学院農学研究科教授鈴木啓一先生をお招きして、ユニバーサイエンス講演会が実施され、「動物の遺伝能力の改良 ～安全・安心で美味しい肉を作る～」という題でした。最新の研究についての講演会は、平成23年度について2回目となります。専門的で難しい内容を、映像を使ってわかりやすく説明していただき、興味関心をそそられた生徒も多く、品種改良事業に興味を持ったと感想を寄せてきました。森林自然学習においては、今年度は3回の炭焼きが実施され、できた白炭について講師の先生から「いい炭になっています」との評価をいただきました。今後は炭の活用と普及に繋げ、里山保全の一助にしたいと考えて取り組んでいきます。



(ユニバーサイエンス講演会)

### 作物部門

専攻生のそば打ちも、時間はかかるものの、遜色ないそば打ちができるようになってきました。今回はそばの茹で方も行われ、最後には自分たちの打ったそばの試食を行いました。自分で茹でたそばの味は格別で、どの生徒達も真剣に味を確かめながらも、満足げな表情でした。

作物園場の今年度の作況は昨年度と比較すると、天候にも恵まれ、水稻で8%増、そばで50%増という結果で終わることができました。



(自作そばの茹でと試食)

### 畜産部門

本年度は、肉牛部門はA4等級が1頭(早期出荷)・A5等級が1頭の2頭を出荷し、繁殖部門では子牛1頭出産・繁殖障害の親牛A3等級の1頭を出荷しました。今年度は、大震災以来最も高値となりました。プロジェクト研究「肉質の改善研究」は、まだ半ばではありますが、今年度の和牛2頭の出荷で良い研究成果を収めており、来年度は、7月と8月に5頭出荷する予定なので成果が期待されます。繁殖部門では、今年の8月に子牛が生まれる予定です。12月に導入した雌牛4頭は順調に成育しており、平成27年7月に出荷予定をしています。

プロジェクト研究発表では、3年生・2年生が1年間取り組んだ調査研究をまとめ、県大会代表に向けて校内発表研究も頑張りました。しかし、入賞はしたものの、惜しくも県大会代表は逃しました。今後、継続研究し良い結果を出せるよう頑張りたいと思います。



### 野菜部門

今年度の野菜部門は、前半は天候にとっても恵まれ、夏野菜は元気に生育してくれました。秋冬野菜は定植をした時にまったく雨が降らず、困ってしまったこともありましたが、その後はハウス内の葉菜類もふくめて順調に生育し、生徒の実習も充実した内容になりました。販売実習の際には、みなさんに沢山野菜を買って頂きありがとうございました。また、来年度も「安全で美味しい野菜」をお届けできるよう実習に励んでいきたいと思ひます。

今年もハウス内に電熱線を設置し、2月下旬から来年度の野菜のたねまきを始めました。春には野菜苗の販売を行いますので、購入をご希望される方は、生徒を通して注文頂くか学校までご連絡下さい。なお、ゴールデンウィーク過ぎに販売できるよう生徒と一緒に準備を進めていきたいと思ひます。



(野菜栽培管理様子)

### 草花部門

今年も多くの方に生徒達が端正込めて育てたシクラメン、カンナ、キク、シネリア、プリムラ類などの鉢物をはじめ、マリーゴールド、ペコニア、ペチュニア、トレニア、サルビア、ロベリアなどの花壇用苗をお買い上げ頂きありがとうございました。来年度は、水で栽培されたウォーターシクラメンの販売を考えています。数に限りがありますので、よかったですら見に来て下さい。

また、喜多方駅前と喜多方市役所前にオブジェ制作を行い、街行く皆さんの目を楽しませることができたと思ひます。来年は、喜多方市役所が現在改築と言うことで、喜多方駅前のみのオブジェ制作になる予定です。

来年度も地域に愛される草花を提供できるよう努力したいと思ひますので、よろしくお願い致します。



(草花実習の様子)

### 農業クラブより

今年の農業クラブ活動では、家畜審査競技「肉牛の部」で産業技術科2年井上竜哉君、農業鑑定競技「農業」産業技術科3年市村祐也君、産業技術科2年中川諒久君、産業技術科1年遠藤裕太君が優秀賞を獲得しました。例年になく、多くの生徒が入賞することができました。これも、地道に努力した結果だと思ひます。来年度は、今年度以上の入賞をめざし頑張りたいと思ひます。

来年度は、本校が農業情報処理競技と家畜審査競技の運営校です。競技がスムーズに行くよう万全の準備で望みたいと思ひます。

